



J Aレーク伊吹 経済部 営農企画課
TEL 0749-63-2101 FAX 0749-64-2085

訪問していますのは、谷城 敏生 です。
携帯 080-4761-6531

❄️ 今月の話題 ❄️

- ◆ 次年度の作付品種の検討
- ◆ 次年度に向けた病害虫防除対策
- ◆ スマート農業の最前線
- ◆ 農政ダイジェスト

メモ

✓生産資材申込期日
平成31年1月18日（金）まで



レーク伊吹農協として今年で合併20周年を迎え、先日グリーンパーク山東にて合併20周年記念感謝祭を開催しました。当日は、みずかがみ米の配布や地元栽培野菜の販売などを通じて地元農産物のPRを行い大盛況でした。

❄️ 次年度の作付品種の検討

耕作面積の拡大に伴い、品質向上とリスク低減のため作期分散・他品種の作付が有効であり、経営規模に応じた作付品種の検討が必要となります。

J Aの主な取扱品種

銘柄	30年度の施設利用		収穫時期	J Aの栽培基準	契約栽培	環境 こだわり申請	主な特性				その他の特徴
	施設 C E	苗 供給					耐倒伏性	穂発芽性	耐病性		
									いもち	紋枯病	
みずかがみ	近江	●	8月下旬	全農基準米		●	強	難	中	中弱	3年連続「特A」取得 夏の暑さに強く、品質が安定して良い早生品種です。
コシヒカリ	全施設	●	9月上旬	J A米	出荷ロット + 播種前契約	—	弱	難	弱	中	良質、極良食味の早生品種で、県内で最も多く作付されています。
特別栽培米 コシヒカリ	伊吹 近江 神照	●	9月上旬	特別栽培米	出荷ロット + 播種前契約	●	弱	難	弱	中	同上
キヌヒカリ	なし	●	9月上旬	J A米	複数年契約 + 播種前契約	—	強	中易	中弱	中弱	「コシヒカリ」の性質を受け継いだ良食味の早生品種です。
日本晴	近江 長浜	●	9月中旬	J A米	複数年契約 + 播種前契約	—	中	中	中	中	品質や収量の変動が少ない安定した中生品種です。
ゆうだい21	北部 荷受 センター	●	9月上旬 ～	J A米	契約販売 + 播種前契約	—	コシヒカリと比較して			中	玄米外観品質は近年のような高温条件下でも乳白米等の発生が少なく、品質が低下しにくい品種です。

※穂発芽性：極易<易<中易<中<中難<難<極難の順で強くなる
耐倒伏性・耐病性：極弱<弱<中弱<中<中強<強<極強の順に強くなる。

☆ H30年度要領

- ・ 播種前契約とは…実需者が求める需要を早期に確保し安定的に有利販売をすることを目的に事前契約をします。
- ・ 出荷ロットとは…コシヒカリ300袋以上をJ Aに出荷契約を締結。出荷契約数出荷いただくと加算金をお支払いします。
- ・ 複数年契約とは…きらめきキヌヒカリ・あっぱれ日本晴があり、契約数を出荷いただくと保証価格での買取、加算金をお支払いします。
- ・ ゆうだい21の契約販売とは…販売先は、(株)神明を通じてLAWSONの店内キッチン「まちかど厨房」指定品種として契約販売されます。

1月下旬頃
申請

- ・ 環境こだわり申請
- ・ みずかがみについては、環境こだわり申請とみずかがみ栽培申込書の提出が必要です。

2月頃
契約手続き

- ・ J Aと播種前契約を締結することで、有利販売を行います。

❄️ 次年度に向けた病害虫防除対策

近年の異常気象によって、いもち病や紋枯病といった病害虫が目立つようになりました。次年度高品質米生産に向けて栽培を心がけ、病害虫の発生を減らす取組みを行いましょう。

主な病害の特徴

いもち病



- ✓ 低温多雨が多いと多発。
- ✓ 多肥は発生を助長。
- ✓ 出穂3-4週間前に本田粒剤を施用するとより高い防除効果あり。

耕種的防除対策

- ① 稲わらをすきこむ
- ② 発生源となる補植用苗の撤去
- ③ 適期中干で茎数を取りすぎない
- ④ 窒素質肥料の過施肥を避ける

紋枯病



- ✓ 高温年に多い。
- ✓ 前年多発した圃場で発生しやすく注意が必要。
- ✓ 倒伏の要因になる。
- ✓ ひどいときは穂も枯らす。

耕種的防除対策

- ① 深耕し、菌核を埋没させる
- ② 近辺の畦畔雑草を減らす
- ③ 適期中干で茎数を取りすぎない
- ④ 窒素質肥料の過施肥を避ける

防除薬剤

種類	農薬	いもち病	紋枯病	害虫
箱施用剤	・デジタルコラトップアクタラ箱粒剤 ・スタウトダントツ箱粒剤	○	×	○
本田防除剤	ブラシン粉剤DL	○	×	×
	リンバー粒剤	×	○	×

箱施用剤	おすすめ 箱入り娘	○	○	○
------	---------------------	---	---	---



- ✓ イネに対する高い安全性をもつ箱施用剤！
- ✓ 水稻初期害虫・ウンカ病・コブノメイガ・フタオビコヤガなど水稻の主要害虫に優れた効果！
- ✓ いもち病、紋枯病など水稻の主要病害に優れた効果！

省力化

コスト低減

病害虫発生を認めてから散布するよりも楽にでき、コストも安くつく！

耕種的防除と合わせて薬剤防除を行いましょう！

スマート農業とは？

トラクター、収穫ロボット、ドローン、などに情報通信技術や人工知能を活用した農業のこと。



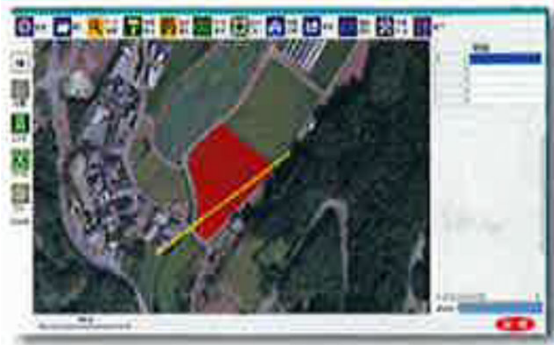
スマート農業の将来イメージ

情報通信技術 (ICT)	人工知能 (AI)
<ul style="list-style-type: none"> ドローンによるデータ解析 解析に基づく栽培管理 圃場の水管理を遠隔操作制御など 	<ul style="list-style-type: none"> 熟練農業者のノウハウをデータで集約しAIによる形式化 後継者や新規就農者へのノウハウ継承、情報共有

JAの営農支援

平成30年4月より JA全農の営農管理システム「Z-GIS」のサービス開始

サービスの一例
パソコン・タブレットで記録した圃場情報を地図上に視覚的にわかりやすく「見える化」し、作付け計画・作業内容・栽培履歴などが一括データ管理できます。



詳しい内容は、担当までご相談下さい。

ひと月の動き

農政ダイジェスト

農業・地域の雑誌「地上」より抜粋
～定価(税込)606円 購読申込受付中～

相対取引で小幅な値上げ

農林水産省が公表した2018年産の9月の相対取引価格は、60kg当たりの全銘柄平均で前年同月比1.5%高と、4年連続で上昇した。しかし、概算金(4~7%高)の上昇幅よりは小幅で、取引数量が多い銘柄の産地で慎重姿勢が目立った。

飼料用作付けが13%減

18年の飼料用作付け面積は7万9528haで前年から1万1978ha減ったことが農水省のまとめでわかった。飼料用への本格的な助成が始まってから初。米価の上昇で主食用への回帰が進んだ。

カボチャの輸入が大幅増

財務省の9月の貿易統計によると、カボチャの輸入量は前年同月比46%増の219tだった。9月に輸入が増えるのは異例とのこと。夏の長雨による北海道産の不作が影響した。卸売会社は「需要期の年末まで、国産の高値傾向は続く」と見通す。

18年産の作況を下方修正

農水省によると、主食用の見込みは収穫量は732万tで、農水省が示した適正生産量735万tを下回る見込みとなった。作況指数は12県が「やや不良」に下方修正。9月以降の日照不足が原因だ。

露地野菜が塩害、年末に品薄か

台風24号の影響により、太平洋側の産地で塩害が発生した。暴風により海水の塩分が飛散したことに加え、降雨が少なかったために塩害が残留し、キャベツやダイコンなどの露地野菜が被害を受けた。年始年末に品薄になるおそれがある、と卸売会社は警戒する。

T P P 11、年末に発効

アメリカを除く11か国によるT P P(環太平洋連携協定)が12月30日に発効することが確定した。世界のG D P(国内総生産)の13%を占める巨大な貿易圏が誕生する。